



YOROZU

2021年度 決算説明会

代表取締役社長 平中 勉

YOROZU

株式会社 **ヨロズ**

東京証券取引所 プライム （証券コード：7294）

YOROZU

- I．決算サマリー
- II．2021年度業績
- III．2022年度業績予想
- IV．2022年度の取り組み
- V．株主還元

2021年度 実績

- ・下期以降の自動車の急激な減産により売上が伸び悩むも
収益改善施策により**前期比大幅な増益**
- ・借入金の返済で財務状況は健全な状態を維持

2022年度 見通し

- ・長期化する半導体不足等で自動車生産の強い回復が見込めず、更に原材料や物流費等が高騰する状況にあるも
適正価格への是正や収益改善施策の継続により
前期比増収増益を見込む
- ・中期経営計画YSP2023の取り組みは加速して推進

株主還元

- ・2021年度の**期末配当は7円**（年間13円）
配当性向35.6%
- ・2022年度配当は前期比20円増配（約2.5倍）の
年間33円を予定、配当性向35.7%の見込み

I. 決算サマリー

II. 2021年度業績

III. 2022年度業績予想

IV. 2022年度の取り組み

V. 株主還元

2021年度連結決算概要 (前期比)

YOROZU

単位：百万円	2020年度	2021年度	前期比	2021年度 直近予想※2	直近 予想比
売上高	118,863	127,316	+7.1%	126,000	+1.0%
営業利益	377	2,096	+455.8%	1,260	+66.4%
経常利益	1,449	2,284	+57.7%	1,240	+84.2%
当期純利益※1	△6,195	876	—	650	+34.9%

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

※2 2022年2月9日時点予想値

	2020年度 A	2021年度 B	増減額 B-A	増減率
一株当たり当期純利益	△259円07銭	36円55銭	+295円62銭	—
連結取り込みレート	106円76銭 / \$	109円90銭 / \$	+3円14銭 / \$	+2.9%

- ◆ 売上高 鋼材価格上昇と円安に伴う換算影響で増収
- ◆ 営業利益 「寄せて止める」生産体制の徹底と固定費圧縮効果により大幅増益
- ◆ 経常利益 雇用調整助成金計上により黒字幅拡大
- ◆ 当期純利益 前期の損失から黒字へ転換

© YOROZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

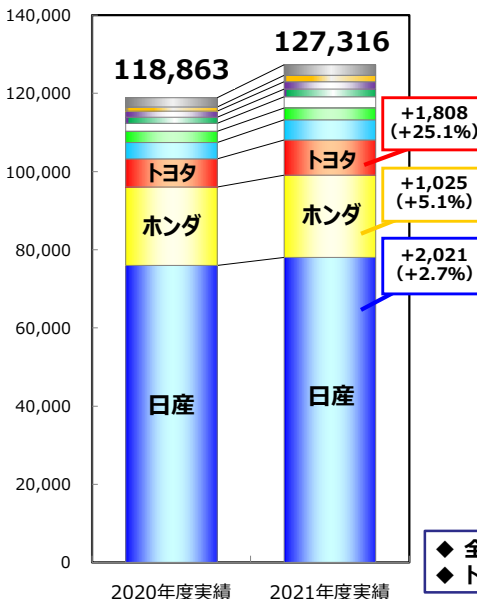
5

連結得意先別売上高 (20年実績 対 21年実績)

YOROZU

単位：百万円

単位：百万円



得意先	2020年度	(%)	2021年度	(%)
日産 Gr ※	75,994	63.9%	78,015	61.3%
ホンダ Gr	20,070	16.9%	21,095	16.6%
トヨタ Gr	7,191	6.0%	8,999	7.1%
いすゞ	4,188	3.5%	5,093	4.0%
マツダ	2,855	2.4%	3,060	2.4%
クボタ	2,027	1.7%	2,882	2.3%
Daimler	1,539	1.3%	1,994	1.6%
VW	1,576	1.3%	1,857	1.5%
スズキ	1,068	0.9%	1,593	1.3%
その他	2,355	2.1%	2,728	1.9%
合計	118,863	100.0%	127,316	100.0%

※ ルノー・三菱向け売上含む

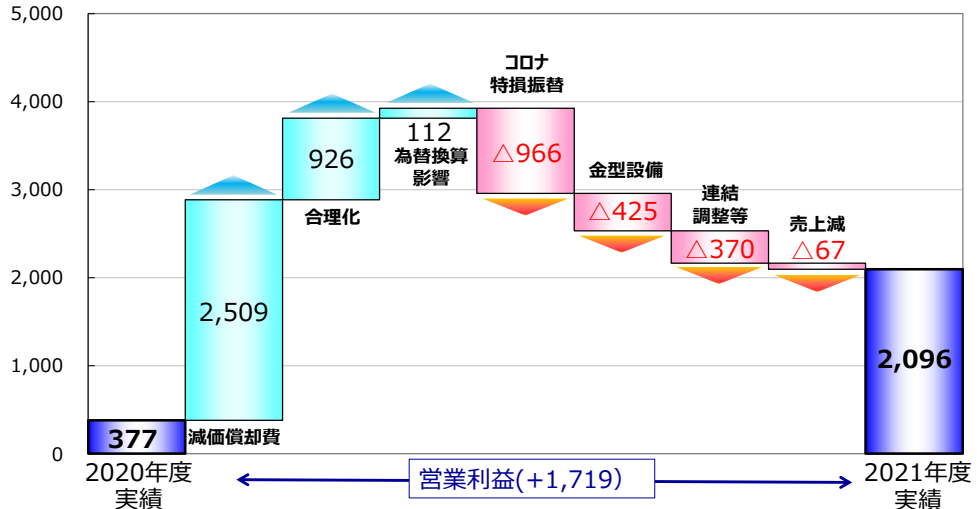
- ◆ 全得意先で2020年比増収
- ◆ トヨタ向けなどの拡販により結果的に日産向け構成比ダウン

© YOROZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

6

連結営業利益の増減要因分析 (20年実績 対 21年実績) YOROZU

単位：百万円



償却費など固定費減少と合理化の積み上げを着実に実行し、前期から大幅な増益

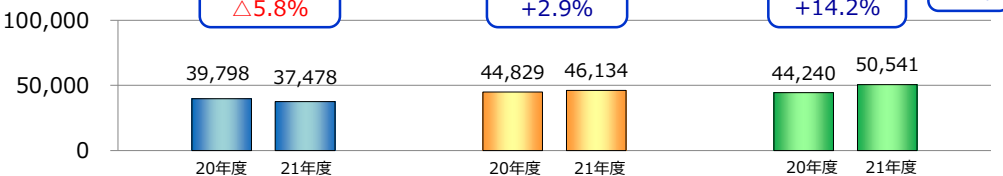
© YOROZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

7

地域別売上高・営業利益 連結調整前 (20年実績 対 21年実績) YOROZU

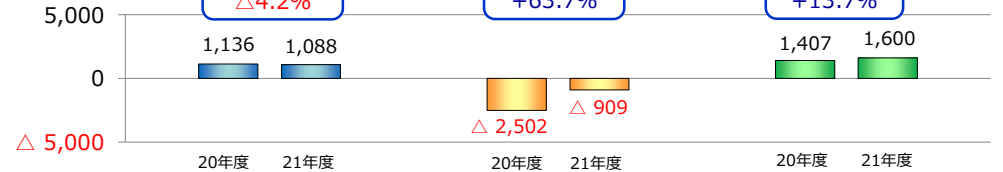
◆売上高

単位：百万円



◆営業利益

単位：百万円



- ◆ 日本 ロイヤルティ収入増加も部品売上・金型売上減少で減収・減益
- ◆ 米州 生産減少も為替影響により売上は微増、合理化により営業損失も縮小
- ◆ アジア タイやインドの生産台数増により増収・増益

© YOROZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

8

財務状況 2022年3月期

YOROZU

(単位：百万円)	2021年3月末 A	2022年3月末 B	前期比(B-A)	
自己資本	53,383	57,039	+3,656	6.8%
自己資本比率	39.6%	42.6%	--	--
有利子負債	DEレシオ 0.84 44,769	0.60 34,259	△10,510	△23.5%
NET有利子負債	NET DEレシオ 0.29 15,509	0.09 5,392	△10,117	△65.2%
総資産	134,723	133,992	△731	△0.5%

(単位：百万円)	2021年3月期 通期累計 A	2022年3月期 通期累計 B	前期比(B-A)	
営業キャッシュフロー	13,218	14,914	+1,696	12.8%
投資キャッシュフロー	△7,048	△4,536	+2,512	--
財務キャッシュフロー	3,775	△13,816	△17,591	--

手元資金を確保しながらNET有利子負債・NET DEレシオは減少、FCFは2年連続プラス

© YOROZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

9

(ご参考) 連結貸借対照表の概要 2022年3月期 YOROZU

単位：百万円		2021年3月末 A	2022年3月末 B	増減 B-A
流動資産		63,721	66,475	+2,754
固定資産		71,001	67,516	△3,485
資産合計		134,723	133,992	△731
流動負債		39,331	44,592	+5,261
固定負債		29,653	19,021	△10,632
負債合計		68,984	63,613	△5,371
株主資本		61,295	61,761	+466
その他の包括利益累計額		△7,912	△4,721	+3,191
非支配株主持分他		12,355	13,338	+983
純資産合計		65,738	70,378	+4,640
負債・純資産合計		134,723	133,992	△731

現預金	△393
受取手形及び売掛金	+817
棚卸資産	+2,652
その他の流動資産	△321
有形固定資産	△2,262
投資有価証券	△753
繰延税金資産	△18
支払手形及び買掛金	+1,073
電子記録債務	+204
短期借入金	+250
1年内返済予定の 長期借入金	△180
その他	+4,012
長期借入金	△10,089
退職給付に係る負債	△172
当期純利益	+876
配当支払	△455
その他有価証券 評価差額金	△504
為替換算調整勘定	+3,628

© YOROZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

10

I. 決算サマリー

II. 2021年度業績

III. 2022年度業績予想

IV. 2022年度の取り組み

V. 株主還元

2022年度連結業績予想の概要

単位：百万円	2021年度 実績 A	売上高 比率	2022年度 予想 B	売上高 比率	増減額 B-A	増減率
売上高	127,316	100.0%	150,000	100.0%	+22,684	+17.8%
営業利益	2,096	1.6%	3,750	2.5%	+1,654	+78.9%
経常利益	2,284	1.8%	3,600	2.4%	+1,316	+57.6%
当期純利益 ※ 1	876	0.7%	2,230	1.5%	+1,354	+154.3%

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

	2021年度実績 A	2022年度予想 B	増減額 B-A	増減率
一株当たり当期純利益	36円55銭	92円48銭	+55円93銭	+153.0%
連結取り込みレート	109円90銭 / \$	120円00銭 / \$	+10円10銭 / \$	+9.2%

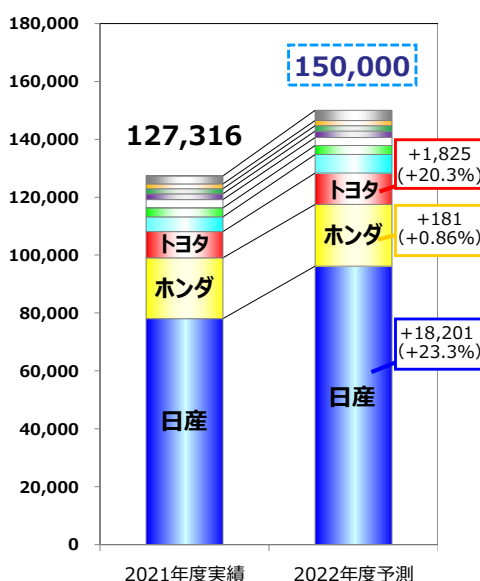
- ◆ 売上高 市場の回復は弱い、円換算差、原材料価格上昇により増収の見込み
- ◆ 営業利益 市場回復弱い中でも、着実な増益を見込む

連結得意先別売上高 (21年実績 対 22年予想)

YOROZU

単位：百万円

単位：百万円



得意先	2021年度	(%)	2022年度	(%)
日産 Gr ※	78,015	61.3%	96,216	64.1%
ホンダ Gr	21,095	16.6%	21,276	14.2%
トヨタ Gr	8,999	7.1%	10,824	7.2%
いすゞ	5,093	4.0%	6,467	4.3%
マツダ	3,060	2.4%	3,105	2.1%
クボタ	2,882	1.3%	2,777	1.1%
VW	1,857	2.3%	2,215	1.9%
Daimler	1,994	1.5%	1,875	1.5%
スズキ	1,593	1.6%	1,687	1.3%
その他	2,728	1.9%	3,558	2.3%
合計	127,316	100.0%	150,000	100.0%

※ ルノー・三菱向け売上含む

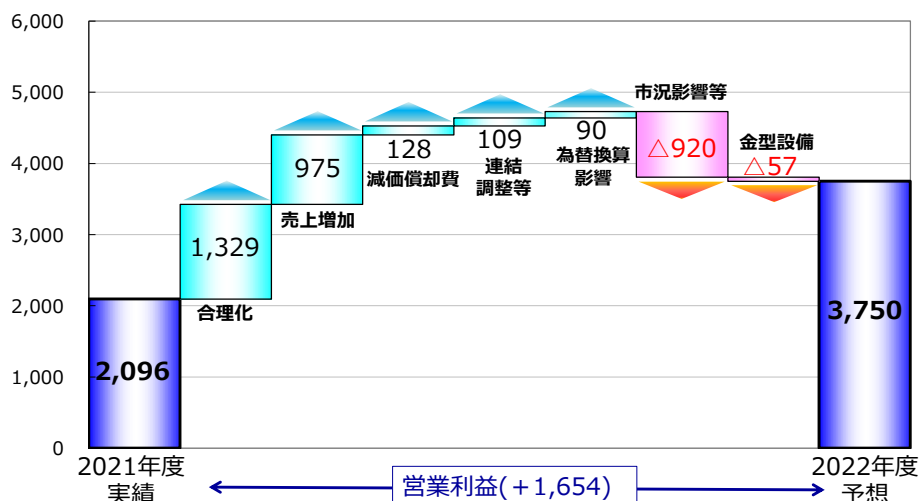
◆ 日産向けを筆頭に売上増加の見込み

© YOROZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

13

連結営業利益の増減要因分析 (21年実績 対 22年予想) YOROZU

単位：百万円



市況影響等による利益圧迫分があるが、
合理化の積上げや売上増加により増益の見込み

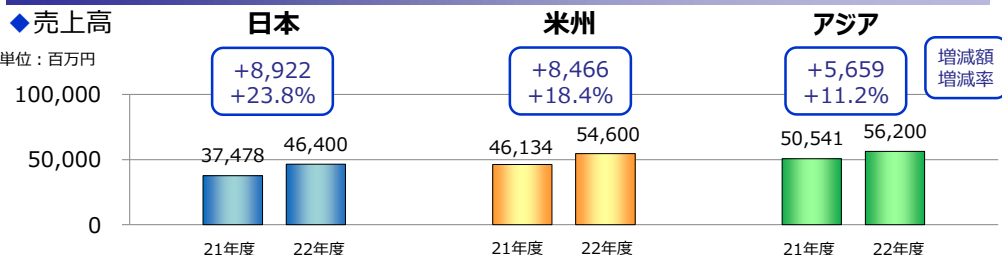
© YOROZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

14

地域別売上高・営業利益 連結調整前 (21年実績 対 22年予想) YOROZU

◆売上高

単位：百万円



◆営業利益

単位：百万円



△ 5,000

全セグメントで増収

- ◆ 日本 ロイヤルティ収入や国内拠点の回復により増益の見込み
- ◆ 米州 米国の収益改善と固定費の減少により、米州では黒字を目指す
- ◆ アジア 実質ボリュームベースでは減少により現段階では減益の見込み

© YOROZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

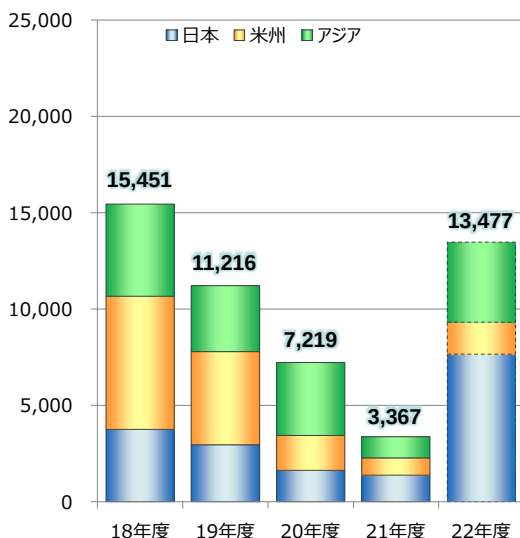
15

設備投資と減価償却費

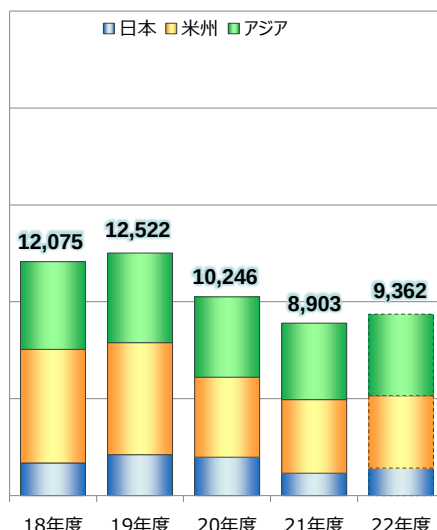
YOROZU

地域別設備投資

単位：百万円



地域別減価償却費



© YOROZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

16

I. 決算サマリー

II. 2021年度業績

III. 2022年度業績予想

IV. 2022年度の取り組み

V. 株主還元

中期経営計画 YoroZu Sustainability Plan 2023

連結業績目標（2023年度）

売上高 1,500億円

営業利益率 5.0%

ROE 8.0%

経営方針

変化に強い健全経営を目指す

(1) ESG経営

中長期的かつ持続的な成長
企業体質の変革に向けたDX(デジタル
トランスフォーメーション)の推進

- ・E：地球にやさしいものづくり
- ・S：健康で働きがいのある職場づくり
- ・G：透明性の高いガバナンスの実践

(2) 安定した収益

- ・適正な生産能力レベルに転換
- ・強い現場の再構築
- ・キャッシュフロー経営の強化
- ・生産台数に左右されにくい企業体質の構築

(3) 新技術・新工法

- ・軽量化による高付加価値の製品開発
- ・電動化自動車への製品等の提案
- ・顧客・製品・地域の3つの軸の観点から積極的に拡販
- ・金型、設備等の生産機器外販の拡大

2021年度トピックス

YORZU

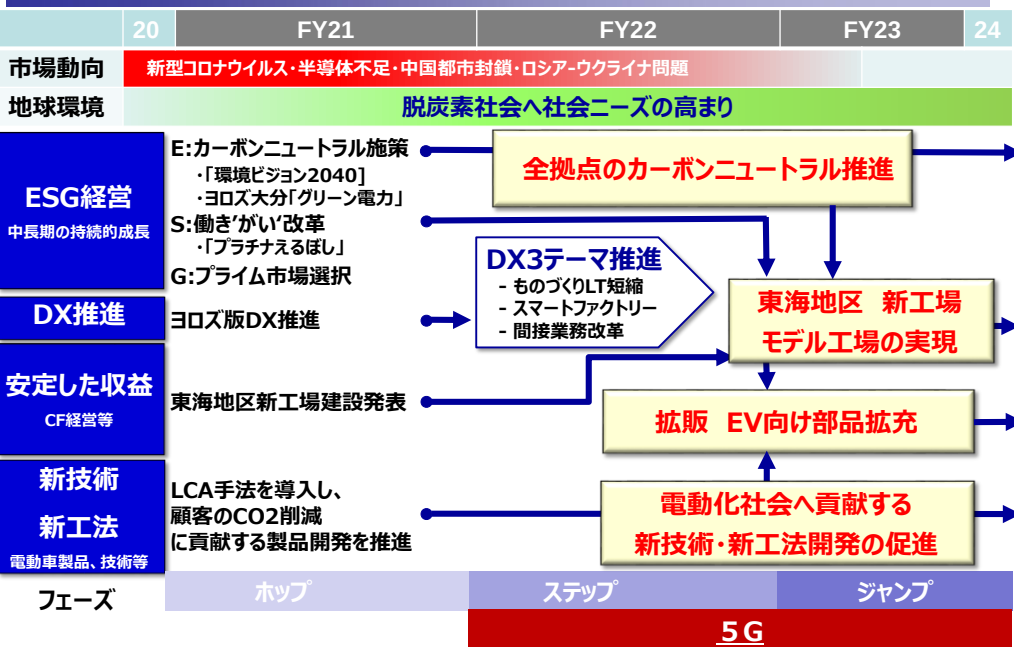
全体		● 統合報告書の発行（9月）
ESG経営	E 環境	● 「ヨロズグローバル環境ビジョン 2040」の策定と公表（8月） ● TCFDの賛同を表明（9月） ● ヨロズ大分の消費電力を100%グリーン電力へ切替（3月）
	S 社会	● 働き“方”から働き“がい”改革へ向けた施策の実施 ● 神奈川県初、製造業初の「プラチナえるぼし」認定取得（11月）
	G ガバナンス	● 「東証プライム市場上場維持基準への適合」を受け、プライム市場選択を公表（8月）
	DX推進	● 「ヨロズ版DXの推進への取り組み」を公表（8月）
安定した収益		● 減産にあわせ「寄せて、止める」を徹底した生産体制 ● コロナ禍においての生産体制の維持 ● 東海地区新工場建設並びにヨロズ愛知の生産集約・移転を公表（2月）
新技術・工法		● 社会や顧客に貢献するLCAでのCO2削減技術の確立 ・製品軽量化によるCO2削減 ・材料置換による製造CO2削減

© YOROZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

19

YSP2023の進捗

YORZU



© YOROZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

20

電動化時代に確固たる存在感を示す
ヨロズの成長戦略の構築と具体的な道筋をつける

5G

Growth:成長戦略

Green

脱炭素社会への貢献

diGital

イノベーションの広がり

Governance

コーポレートガバナンス
の充実

Grit:心構え

Guts
(ガッツ)Resilience
(回復力)Initiative
(自発力)Tenacity
(やり遂げる力)

カーボンニュートラル戦略

Growth:成長戦略

Green

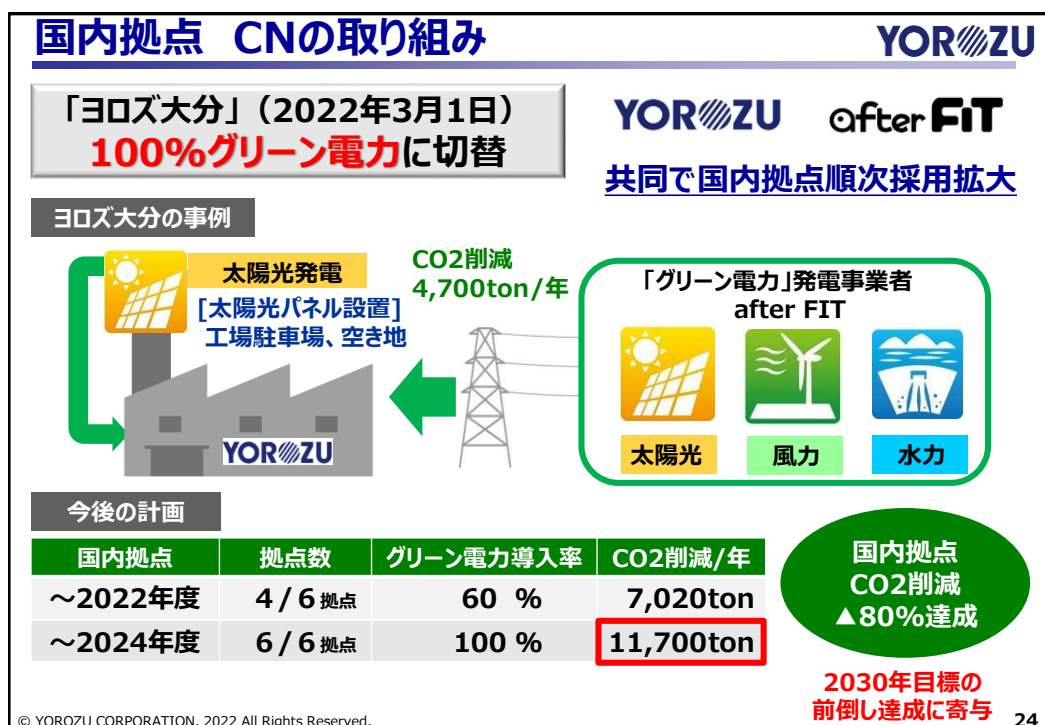
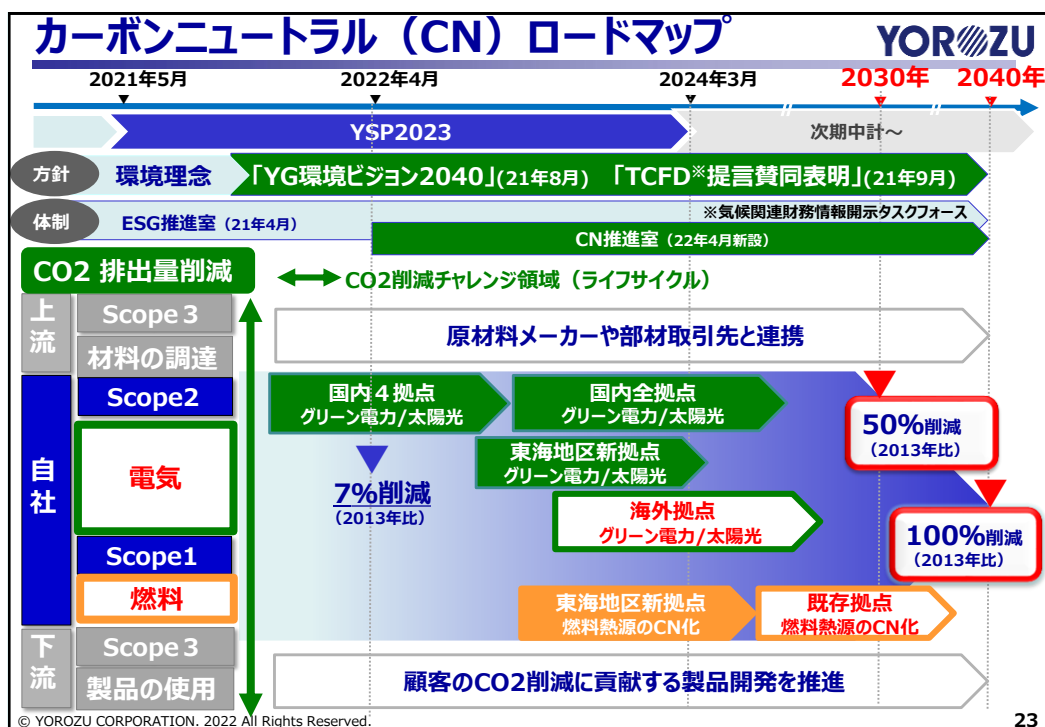
脱炭素社会への貢献

diGital

イノベーションの広がり

Governance

コーポレートガバナンス
の充実



海外拠点 取り組み（太陽光発電の導入）

YOROZU



各国の脱炭素の取り組みに合致した活動を展開していく

© YOROZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

25

中期経営計画 YoroZu Sustainability Plan 2023

YOROZU

東海地区 新工場



© YOROZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

26

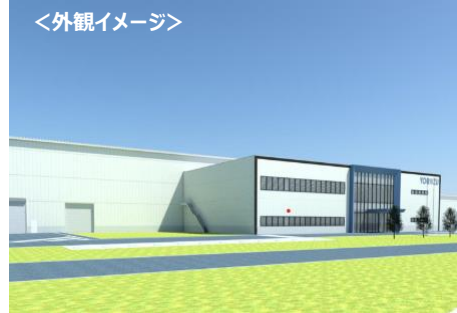
東海地区の新工場建設

YOROZU

新工場概要

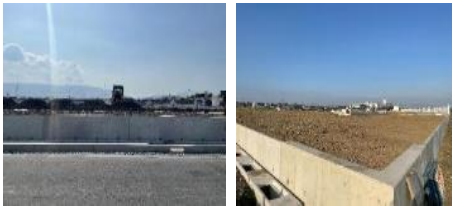
所在地：岐阜県安八郡輪之内町(予定地)
 生産品目：自動車サスペンション部品ほか
 敷地面積：約79,700㎡
 延床面積：約18,400㎡
 投資金額：約120億円
 工事着工：2022年11月 予定
 稼働開始：2024年 1 月 予定

<外観イメージ>



進捗と計画

・5月 造成、ボーリング調査推進中



© YOROZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

27

新工場の‘ものづくり’競争力強化

YOROZU

一段上の生産性と品質

- ・手狭な賃借物件から自社工場
- ・生産能力の拡大
- ・工程レイアウトの改善
- ・老朽化設備の一新
- ・プレス内製の拡大
- ・最新鋭の超厚膜塗装設備導入

物流改善 (コスト、CO2削減)

・中部以西の顧客・取引先との近接化



DX推進

ものづくりリードタイム短縮

スマートファクトリー

間接業務改革

生産計画

見える化

分析データ

予測データ

Scope1,2 CN達成

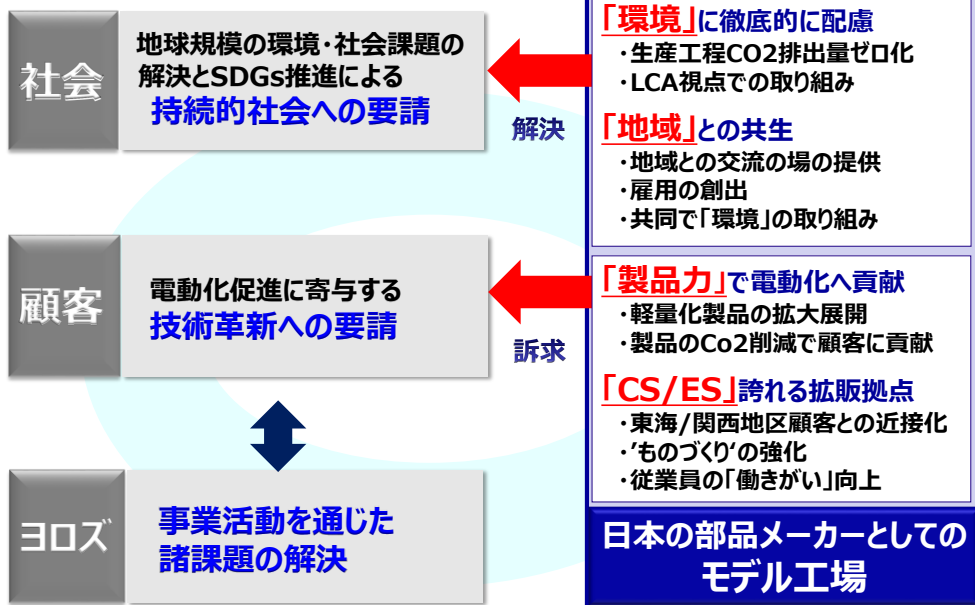
完全にグリーンな環境で製造

© YOROZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

28

新工場が目指す姿

YOROZU



© YOROZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

29

中期経営計画 YoroZu Sustainability Plan 2023

YOROZU

電動化社会へ貢献する 新技術・新工法と拡販

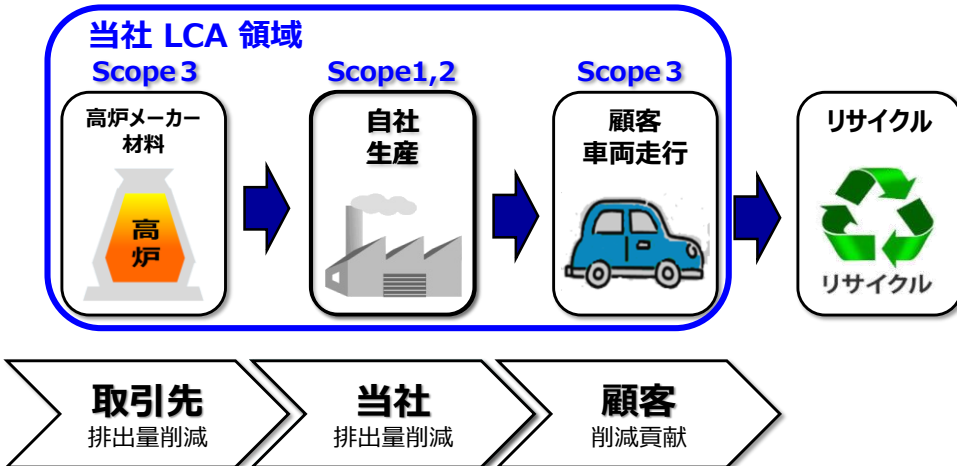


© YOROZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

30

新技術・新工法開発 LCA(ライフサイクルアセスメント)導入 YOROZU

- ◆ 自社製造工程のCO2排出量削減に加え、
顧客のCO2削減活動に貢献する製品開発を積極的に推進
- ◆ 顧客に選ばれる、環境・性能・価格を満足した製品の開発



© YOROZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

31

新技術・新工法開発 開発アイテム事例

YOROZU

- ・ハイテンの薄板材を利用できるプレス成形・溶接技術
- ・鉄製品で製造工程を削減する構造設計と工法開発

鉄製品での技術貢献		
適用時期	21年度	22年度
アイテム	ハイテン鋼板メンバー (780MPa材)	新プレス構造アーム
開発ポイント	高強度材で板厚削減する プレス成形、溶接技術開発 難成形部品へ適用	プレス単品のみでリンク機能を 満足する構造・工法開発
	市場投入決定	
重量	▲8% (26.3 kg → 24.2kg)	▲11% (0.57 kg → 0.50kg)
CO2 排出量	▲310 千トン	▲20 千トン

© YOROZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

※ライフ6年、20万台/年 車種にご採用頂いた場合で試算

32

新技術・新工法開発 開発アイテム事例

YOROSUZU

- ・素材製造時のCO2排出量が多いアルミ材から、重量は増加するもトータルでCO2削減に寄与する鉄製品への置き換え
- ・超ハイテンの薄板材を利用できるプレス成形・溶接技術

鉄製品での技術貢献			
適用時期	22年度	23年度	
アイテム	材料置換アーム (アルミ→鉄)	超ハイテン鋼板アーム (980MPa材)	
開発 ポイント	材料製造時のCO2 排出量が少ない 鉄への置換開発	超高強度材で板厚削減する プレス成形、溶接技術開発	
	市場投入決定		難成形部品へ適用 (24年度以降)
重量	+33% (アルミ 1.85kg → 鉄 2.46kg)	▲15% (9.20kg → 7.82kg)	▲22% (3.51kg → 2.74kg)
CO2 排出量	▲281 千トン	▲407 千トン	▲228 千トン

© YOROSUZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

※ライフ6年、20万台/年 車種にご採用頂いた場合で試算

33

新技術・新工法開発 軽量化目標と進捗

YOROSUZU

YSP2020

軽量・高剛性
サスペンションの構造設計
鋼板 780MPa級

軽量化▲15%達成

YSP2023

超軽量・超高剛性サスペンションの構造設計

FY21 ハイテン鋼板メンバー 780MPa級
FY22 新プレス構造アーム、材料置換アーム
FY23 超ハイテン鋼板アーム 980MPa級

軽量化▲15%

YSP2020

FY18~FY20

YSP2023

FY21

FY22

FY23

次期中計~

FY24~

▲15%

▲23%

▲26%

▲30%

達成

計画

計画

・電動車向け
製品開発
・要素技術
の推進

軽量化 ▲30% 以上

© YOROSUZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

34

拡販への取り組み

YOROZU



© YOROZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

※BEV (電池式EV)

35

中期経営計画 YoroZu Sustainability Plan 2023

YOROZU

コーポレートガバナンスの充実



© YOROZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

36

プライム市場へ移行

ガバナンス強化の取り組み内容

➤ 取締役会・委員会の構成

・取締役会

① 4人/9人が独立社外取締役

・報酬委員会、指名委員会

① 委員長は社外取締役

② 4人/7人は社外取締役



➤ 投資家との建設的な対話



・機関投資家との面談の実施

・バーチャル総会（参加型）の開催予定
開かれた総会、株主との対話の場を提供

ガバナンスの強化と投資家との建設的な対話を通じて、
持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指す

I. 決算サマリー

II. 2021年度業績

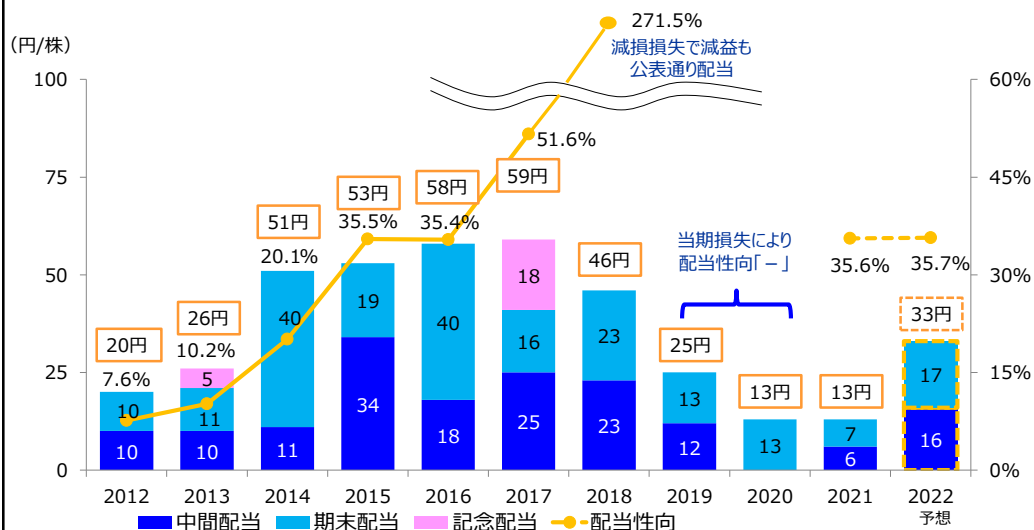
III. 2022年度業績予想

IV. 2022年度の取り組み

V. 株主還元

V. 株主還元について

YOROZU



基本方針は配当による株主還元
目標配当性向を35%以上としつつ持続的な配当を目指します

© YOROZU CORPORATION. 2022 All Rights Reserved.

39

YOROZU

以上

40

2021年度 YOROZU 決算説明会
ご清聴ありがとうございました

ヨロズ ホームページURL
<http://www.yorozu-corp.co.jp>

免責事項と著作権

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控え下さいますようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。

●お問合せ

責任者：(株)ヨロズ 取締役
担当：(株)ヨロズ 経理部 主担

佐草 彰
高橋 剛健

T E L 045-543-6802